

厚生労働科学研究費補助金
免疫・アレルギー疾患政策研究事業

関節リウマチ診療ガイドラインの改訂による医療水準
の向上に関する研究

令和 4 年度～令和 5 年度 総合研究報告書

研究代表者
針 谷 正 祥

令和 6 年(204 年 3 月)

厚生労働科学研究費補助金 総合研究報告書 目次

I. 総合研究報告	
関節リウマチ診療ガイドラインの改訂による医療水準の向上に関する研究 針谷 正祥（東京女子医科大学医学部膠原病リウマチ内科学講座）	1
II. 研究成果の刊行に関する一覧表	5

I. 総合研究報告

厚生労働科学研究費補助金（免疫・アレルギー疾患政策研究事業）

総合研究報告書

関節リウマチ診療ガイドラインの改訂による医療水準の向上に関する研究班

研究代表者 針谷正祥 東京女子医科大学医学部内科学講座膠原病リウマチ内科学分野 教授

研究要旨 RA 全体の治療方針は、研究代表者が中心となって作成した日本リウマチ学会(JCR)関節リウマチ診療ガイドライン 2020 (RA-CPG2020) に記載され、55 の推奨が提示されている。本研究課題では、RA 患者のライフステージに応じて治療を適切に実施し、疾患の重症化・難治化を未然に防止するためのガイドライン改訂を実施した。ガイドライン作成組織として、統括委員会、システマティックレビューチーム、ガイドラインパネル会議を設置、また、妊婦・授乳婦担当、成人後の関節型 JIA 担当、高齢者担当を指名した。2022 年 4 月に統括委員会を設置し、ガイドライン改訂準備を開始した。統括委員会で作成手順およびスケジュールの決定、利益相反管理方針の決定、作成組織の編成、スコープ作成、CQ 決定を行い、並行してシステマティックレビューチームの公募、選考を実施した。2023 年 3 月までにシステマティックレビューがほぼ完了し、パネル会議メンバーを対象とした Evidence to Decision Table の作成講習会を開催した。2022 年度に実施したシステマティックレビュー (SR) 結果を受けて、CPG パネルの各クリニカルクエスション (CQ) 担当者が Evidence to Decision Table (EtD テーブル) と推奨文案を作成し、合計 5 回のパネル会議で、成人 RA、高齢 RA、妊娠・授乳期、少関節炎型・多関節炎型 JIA の推奨を討議・投票・決定した。2024 年 2 月に日本リウマチ学会理事会に作成した CPG を提出し、承認された。2024 年 5 月 1 日に本 CPG の初版第 1 刷が発行され、日本リウマチ学会員に配布された。

研究分担者氏名・所属研究機関名及び所属研究機関
における職名

杉原 毅彦	東邦大学大学 医学部 准教授	森 雅亮	国立大学法人東京医科歯科大学・ 大学院医歯学総合研究科
金子佳代子	国立研究開発法人国立成育医療研究 センター・周産期・母性診療セン ター母性内科 診療部長	川人 豊	寄付講座教授 京都府立医科大学・ 大学院医学研究科 准教授
金子 祐子	慶應義塾大学・医学部 教授	小嶋 俊久	国立病院機構名古屋医療センタ ー・統括診療部・手術部長
田中 榮一	東京女子医科大学・医学部 准教授	亀田 秀人	東邦大学 医学部 教授
宮前多佳子	東京女子医科大学・医学部 准教授	中島亜矢子	三重大学・医学部・教授
岸本 暢将	杏林大学 医学部 准教授	房間 美恵	宝塚大学・看護学部 准教授
河野 正孝	京都府立医科大学・大学院医学研究 科 講師	後藤美賀子	国立研究開発法人国立成育医療研 究センター・妊娠と薬情報センタ ー 非常勤講師
小嶋 雅代	名古屋市立大学・医薬学総合研究院 (医学) 特任教授	岡本 奈美	大阪医科薬科大学・医学部医学科 非常勤講師
平田信太郎	広島大学・病院 教授		
森信 暁雄	京都大学・大学院医学研究科 教授		

A. 研究目的

関節リウマチ (RA) に対する薬物治療、特に分子標的治療は急速に進歩しつつある。RA 全体の治療方針は、研究代表者が中心となって作成した日本リウマチ学会 (JCR) 関節リウマチ診療ガイドライン 2020 (RA-CPG2020) に記載され、55 の推奨が提示されている。これらの推奨は2012年から2019年に発表された臨床試験結果を基に作成されており、臨床試験から通常除外される妊婦・授乳婦、成人移行期の関節型若年性特発性関節炎 (JIA) の診療については解説形式で記載された。また高齢者については臨床試験のサブ解析データを基に3個の推奨のみが作成された。メトトレキサート (MTX) 皮下注製剤、新規生物学的製剤が承認され、バイオ後続品も新規製剤が複数承認されている。また、JAK 阻害薬に関しては5剤の臨床試験結果が出揃い、安全性データの蓄積も進んでいる。JAK 阻害薬を用いた JIA の臨床試験結果も報告され、本邦でも 2024 年 3 月に既存治療で効果不十分な多関節に活動性を有する若年性特発性関節炎への適応拡大が承認された。

本研究課題では、RA 患者のライフステージに応じて治療を適切に実施し、疾患の重症化・難治化を未然に防止するためのガイドライン改訂を目指す。そのために、(1) RA における MTX 皮下注製剤、生物学的製剤、JAK 阻害薬、バイオ後続品の 2019 年以降のエビデンスを収集し、それ以前のエビデンスと統合し、システマティックレビュー (SR) を行う、(2) SR、ナラティブレビュー等の手法を用いて、①RA、JIA の妊娠・授乳期、②成人移行期の少関節炎型・多関節炎型 JIA、③高齢 RA における治療に関する

エビデンスを収集・解析する、これらの結果を踏まえて RA-CPG2024 改訂案を作成することを目的とした。

B. 研究方法

今回の RA-CPG 改訂においても、2020 版と同様に GRADE (Grading of Recommendations, Assessment, Development and Evaluation) 法に沿った CPG を作成する方針とした。ガイドライン作成組織として、統括委員会、システマティックレビューグループ、CPG パネル委員会を設置、また、妊娠・授乳期担当、成人後の少関節炎型・多関節炎型 JIA 担当、高齢者担当を指名した。

研究の実施に当たっては、JCR の関連する委員会から当研究班に委員を推薦して頂き、密接に連携を取りながら進めた。日本リウマチ友の会に患者代表の参加を依頼した。また、厚生労働科学研究費補助金難治性・希少免疫疾患におけるアンメットニーズの把握とその解決に向けた研究班、移行期 JIA を中心としたリウマチ性疾患における患者の層別化に基づいた生物学的製剤等の適正使用に資する研究班、自己免疫疾患に関する調査研究班、AMED 高齢発症関節リウマチ患者の健康寿命延伸を目指した治療戦略の確立班と連携し、研究を進めた。

令和 5 年度は、CPG パネル委員会における推奨案の作成・検討、担当パネル委員による解説文案の作成、統括委員会による編集作業、出版社による編集作業とその確認、外部評価、日本リウマチ学会理事会での承認を実施した。また、SR 結果を英文論文として発表した。

(倫理面への配慮)

利益相反管理方針を定め、日本リウマチ学会利益相反管理委員会でガイドライン作成者の利益相反管理を実施する。GPG 作成に関しては、倫理審査委員会への申請は不要である。

C. 研究結果

2022 年 4 月に統括委員会を設置し、研究代表者が委員長に就任して、ガイドライン改訂準備を開始した。統括委員会で作成手順およびスケジュールの決定、利益相反管理方針の決定、作成組織の編成、スコープ作成、クリニカルクエスチョン(CQ)決定を行い、並行してシステマティックレビューチームの公募、選考を実施した。

以下の 3 つの重要臨床課題を設定した。

重要臨床課題 1：小児期、成人移行期、成人、高齢者、妊娠・授乳期のライフステージ別に対応可能な改訂ガイドライン作成し、さらなる予後の改善をめざす。

重要臨床課題 2：JAK 阻害薬を含めた新規薬剤と医療経済を考慮した薬物療法（バイオシミラー）の推奨をアップデートし、リスクベネフィットのバランスを考慮した薬物治療の指針を示す。

重要臨床課題 3：手術・リハビリテーション治療は、重要な臨床課題であるが、2020 版以降でのエビデンスに大きな変化はないため今回の改訂には含めず、次のガイドライン作成時にアップデートを検討する。

第 1 回班会議を 2022 年 7 月 22 日に開催し、研究分担者、研究協力者とガイドライン改訂計画を共有した。8 月 7 日、11 月 6 日、2 月 12 日にシステマティックレビュー勉強会を開催し、システマティックレビューを進めた。この間、研究分担者はシステマティックレビューチームを適宜サポートした。第 2 回班会議を 2023 年 1 月 14 日

に開催し、進捗状況報告および今後の予定を共有した。2023 年 3 月までにシステマティックレビューがほぼ完了した。2023 年度でのパネル会議に向けて、パネル会議メンバーを対象とした Evidence to Decision Table (EtD テーブル) の作成講習会を開催した。

令和 5 年度は CPG パネルの各 CQ 担当者が EtD テーブルと推奨文案を作成した。合計 5 回のパネル会議を開催し、成人 RA、高齢 RA、妊娠・授乳期、JIA 少関節炎型・多関節炎型の推奨を討議・投票・決定した。その結果、MTX 皮下注射に関する推奨 1 点、biological DMARD に関する推奨 6 点、JAK 阻害薬に関する推奨 6 点、バイオ後続品に関する推奨 2 点、高齢者に関する推奨 4 点、妊娠・授乳期に関する推奨 2 点、JIA 少関節炎型・多関節炎型に関する推奨 6 点が決定された。推奨に合わせて、治療アルゴリズムも一部修正された。推奨作成可能なエビデンスが揃わなかった CQ に関して、5 項目（ハイドロキシクロロキン 1 点、妊娠・授乳期 3 点、JIA 少関節炎型・多関節炎型 1 点）の Q&A を作成した。

作成した CPG に対してパブリックコメントを募集し、外部評価を 3 名の外部評価委員および日本医療機能評価機構 EBM 普及推進事業 (Minds) に依頼した (Minds は 2024 年 5 月現在、受審中)。また、作成した CPG を日本リウマチ学会理事会に提出し、日本リウマチ学会のガイドラインとすることが承認された。2024 年 5 月 1 日に本 CPG の初版第 1 刷が発行され、日本リウマチ学会員に配布された。

2023 年度に実施した SR 結果について、パネル会議で質問・指摘があった項目に関して、追加解析、修正等を実施した。成人 RA、高齢 RA、妊娠・授乳期、JIA 少関節炎型・多関節炎型のそれぞれの SR 結果の論

文化を進めた。成人 RA は投稿中、高齢 RA は受理済、妊娠・授乳期と JIA は投稿準備中である（2024 年 5 月現在）。

D. 考察

RA-CPG2020 では SR をパネル会議メンバーが兼務したが、今回は SR チームを公募することにより、分業が可能となった。SR チーム公募は研究代表者が難治性血管炎に関する調査研究班で実施したシステムを本研究課題にも採用したものである。今後も 3～4 年間隔でのガイドライン改訂が必要と考えられ、そのためには SR の知識・技術を持った SR グループ候補人材、ガイドラインの作成方法・経験を持った CPG パネル候補となる人材、予算確保が必要不可欠である。SR グループ候補人材の育成のため、令和 4 年度に SR グループを公募し SR 勉強会（いわゆる on the job training）を実施した。今後は参加者のリトリートを行い、より適切に、より速やかに SR を実施する人材を育成する必要がある。

E. 結論

「日本リウマチ学会関節リウマチ診療ガイドライン 2024 改訂—若年性特発性関節炎 少関節炎型・多関節炎型診療ガイドラインを含む」を発行した。本 CPG の普及により RA 治療の標準化が一層進み、医療消費者の大きなメリットになることが期待される。

F. 研究発表

1. 論文発表

令和 5 年度の各分担研究報告の論文発表欄および研究成果一覧表を参照

2. 学会発表

令和 5 年度の各分担研究報告の論文発表欄および研究成果一覧表を参照

G. 知的所有権の取得状況

1. 特許取得：該当事項なし

2. 実用新案登録

該当事項なし

3. その他

該当事項なし

Ⅱ. 研究成果の刊行に関する一覧表

研究成果の刊行に関する一覧表
書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書 籍 名	出版社名	出版地	出版年	ページ
針谷正祥	関節リウマチ関連リンパ増殖性疾患の診断と管理	針谷正祥	医学のあゆみ	医歯薬出版株式会社	東京	2022	761
針谷正祥	関節リウマチ関連リンパ増殖性疾患の診断と管理の手引き	3 学会合同 RA 関連 LPD ワーキンググループ	関節リウマチ関連リンパ増殖性疾患の診断と管理の手引き	羊土社	東京	2022	30-45 66-87 94-111 126-133
岸本暢将	III. 関節リウマチの検査・診断: 関節症候 (分担執筆)	田中良哉	日本臨牀 80 巻増刊号: 最新関節リウマチ学 (第2版)	日本臨牀社	東京	2022	p. 140-144
岸本暢将	①. 「関節が痛い」はすべてリウマチ?	田中良哉	特集: ここが変わった関節リウマチの治療. 薬局, 74 (Vo3).	南山堂	東京	2023	p. 59-65
森信暁雄	ステロイドの副作用と対策	福井次矢、高木誠、小室一成総編集	今日の治療指針 2023	医学書院	日本	2023. 1	887-889
森 雅亮	関節リウマチの治療 1. 治療総論 小児, 移行期における治療戦略 - 若年性特発性関節炎に承認されている抗リウマチ薬を中心に -		日本臨牀増刊号 最新関節リウマチ学 (第2版) - 寛解・治療を目指した研究と最新治療-	日本臨牀社	東京	2022	324-330

森 雅亮	特殊なケースの薬物療法 09. 成人移行期の関節リウマチ診療.	編集: 竹内勤	関節リウマチ治療 実践バイブル改訂第2版	南江堂	東京	2022	228-232
森 雅亮	第13章臨床免疫学総論. 第16章リウマチ性疾患.	監修 原 寿郎. 編集 高橋 孝雄/細井 創/齋藤昭彦.	標準小児科学 第9版	医学書院	東京	2022	269-280 317-333
森 雅亮	序『小児リウマチレジデントガイド』を手にとってくださいっている読者の皆様へ. Metropolitan Pediatric Rheumatology Conference	編集. 日本小児リウマチ学会 編集協力.	小児リウマチレジデントガイド	朝倉書店	東京	2022	1-241
森 雅亮. 清水 正樹	サイトカインストーム症候群. - メカニズムと治療 -	日本リウマチ学会小児リウマチ調査検討小委員会 翻訳協力.	サイトカインストーム症候群 - メカニズムと治療 -	朝倉書店	東京	2022	1-363
森 雅亮	小児リウマチ学のControversy (編集 森 雅亮)	金子 一成 (監修・編集)	小児科診療 Controversy.	中外医学社	東京	2022	468
三村 俊英. 森 雅亮. 他 自己免疫疾患に関する調査研究班 成人スチル病分科会	成人スチル病診療ガイドライン 2017年版 [2023年 Update]	厚生労働科学研究費補助金難治性疾患等政策研究事業 自己免疫疾患に関する調査研究班 編集.	成人スチル病診療ガイドライン 2017年版 [2023年 Update]	診断と治療社	東京	2023	108

森 雅亮	若年性特発性関節炎. 小児科診療ガイドラ インー最新の診療指 針ー(第5版)	編集:加藤元博	若年性特発性 関節炎.小児 科診療ガイド ラインー最 新の診療指針 ー(第5版)	総合医学 社	東京	2023	644-650
森 雅亮	小児リウマチ疾患 トシリズマブ治療の 理論と実際	伊藤秀一. 森雅 亮(監修) 協力:日本小児 リウマチ学 会、日本リウ マチ学会	小児リウマチ 疾患 トシリ ズマブ治療の 理論と実際	メディカ ルレビュー ー社	東京	2023	201
亀田秀人, 他		日本リウマチ 学会 MTX 診療 ガイドライン 策定小委員会.	関節リウマチ におけるメト トレキサート (MTX) 使用 と診療の手引 き 2023 年版	未土社	東京	2023	
亀田秀人	リウマチ性疾患の臨 床検査	矢崎義雄, 小 室一成	内科学第 12 版	朝倉書店	東京	2022	1154-1182
井上有希, 亀田秀人	メトトレキサート		最新関節リウ マチ学(第2 版)	日本臨床 社	東京	2022	359-363
亀田秀人	解熱・鎮痛薬、抗 炎症薬	堀正二, 菅野 健太郎, 門脇 孝, 乾賢一, 林昌洋	治療薬ハンド ブック 2023	じほう	東京	2023	1188-1216
亀田秀人	MTX の効果的な使い方	竹内勤	関節リウマチ 治療実践バイ ブル改訂第2 版	南江堂	東京	2022	155-158

房間美恵	多職種連携、クリニカルパス	田中良哉	最新関節リウマチ学（第2版）	日本臨床社	東京	2022	335-339
後藤美賀子・村島温子	妊娠希望者・妊産婦・授乳中の場合	竹内勤	関節リウマチ治療実践バイブル(改訂第2版)	南江堂		2022	348
岡本奈美	全身型若年性特発性関節炎は、他のサブタイプと異なるのか？	金子一成	小児科診療 controversy	中外医学社	東京	2022	195-201
岸本暢将	書籍全体の監修	岸本暢将、藤田芳郎、滝澤直歩、志水英明	フィジカルアセスメントで追いつめる！リウマチ・膠原病診療マスト&ベスト（マスト&ベスト/ミニマム）	診断と治療社	東京	2023	
森信暁雄	今日の治療指針 2024 関節リウマチ（内科）	福井次矢、高木誠、小室一誠	今日の治療指針 2024	医学書院	日本	2024	869-872
川畑 仁 人・森 雅亮・ 山崎 和子 (監訳)	AYA 世代のリウマチ診療—臨床と実践のた めに—	Janet E. McDonagh・ Rachel S. Tattersall(著))/川畑 仁 人・森 雅亮・ 山崎 和子(監 訳)	AYA 世代のリウマチ診療—臨床と実践のために—	朝倉書店	東京	2023	総ページ 272

森 雅亮	Part 15: 第 178 リウマチ性疾患/179 章リウマチ性疾患の治療	五十嵐 隆	ネルソン小児科学 原著第 21 版	ELSEVIER JAPAN	東京	2021	
森 雅亮	膠原病・リウマチ性疾患	編集「小児科臨床」編集委員会	小児科専門医受験のための最速トレーニング 144 問.	総合医学社	東京	2023	105-118
亀田秀人	諸言、適応、禁忌と慎重投与	日本リウマチ学会 MTX 診療ガイドライン策定小委員会	関節リウマチにおけるメトトレキサート (MTX) 使用と診療の手引き 2023 年版	羊土社	東京	2023	16-26
亀田秀人	膠原病および類縁疾患 最近の動向	福井次矢、高木誠、小室一成	今日の治療指針 2024	医学書院	東京	2024	862-863
亀田秀人	解熱・鎮痛薬、抗炎症薬	堀正二, 菅野健太郎, 門脇孝, 乾賢一, 林昌洋	治療薬ハンドブック 2024	じほう	東京	2024	1192-1218
房間美恵	関節リウマチにおけるメトトレキサート (MTX) 使用と診療の手引き	日本リウマチ学会 MTX 診療ガイドライン小委員会	関節リウマチにおけるメトトレキサート (MTX) 使用と診療の手引き	羊土社	東京都	2023 年	76-78

房間美恵	高齢 RA 患者に対する 看護の注意点	橋本 求	高齢者のリウ マチ	株式会社 ライフ・ サイエン ス	東京都	2023 年	328-328
房間美恵	若年性特発性関節炎 患者支援の手引き	森 雅亮	若年性特発性 関節炎患者支 援の手引き	羊土社	東京都	2023 年	
岡本奈美	第 1 章若年性特発性 関節炎全般に関する Q&A Q7-12	厚生労働科学 研究補助金 免疫・アレルギー疾患政策 研究事業「移行期 JIA を中 心としたリウ マチ性疾患に おける患者の 層別化に基づ いた生物学的 製剤棟の適正 使用に資する 研究」研究班	若年性特発性 関節炎患者支 援の手引き	日本リウ マチ学会 HP より閲 覧・DL (羊土社 編集)	東京	2023	91-97

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Hirose W, Harigai M, Amano K, Hidaka T, Itoh K, Aoki K, Nakashima M, Nagasawa H, Komano Y, Nanki T.	Real-world effectiveness and safety of tofacitinib and abatacept in patients with rheumatoid arthritis.	Rheumatol Adv Pract.	doi: 10.1093/rap/rkac090.	eCollection	2022
Tanaka E, Inoue E, Shoji A, Nilsson J, Papagiannopoulos C, Dhanda D, Yoshizawa Y, Abe M, Saka K, Sugano E, Sugitani N, Ochiai M, Yamaguchi R, Ikari K, Yamanaka H, Harigai M.	Cost-consequence of abatacept as first-line therapy in Japanese rheumatoid arthritis patients using IORRA real-world data.	PLoS One.	17(11):	e0277566	2022
Ishigaki K, Sakaue S, Terao C, Luo Y, Sonehara K, Yamaguchi K, Amariuta T, Too CL, Laufer VA, Scott IC, Viatte S, Takahashi M, Ohmura K, Murasawa A, Hashimoto M, Ito H, Hammoudeh M, Emadi SA, Masri BK, Halabi H, Badsha H, Uthman IW, et al.	Multi-ancestry genome-wide association analyses identify novel genetic mechanisms in rheumatoid arthritis.	Nat Genet.	54(11):	1640-1651	2022
Honda S, Yano K, Tanaka E, Ikari K, Harigai M.	Development of a scoring model for the Sharp/van der Heijde score using convolutional neural networks and its clinical application.	Rheumatology (Oxford).	doi: 10.1093/rheumatology/keac586.	[Epub ahead of print]	2022

Sakai R, Tanaka E, Inoue E, Sato M, Tanaka M, Ikari K, Yamanaka H, Harigai M.	Association between patient-reported outcomes and impairments in work and activity in patients with rheumatoid arthritis in clinical remission: a retrospective analysis using the IORRA database.	Mod Rheumatol.	doi: 10.1093/mr/roac105	[Epub ahead of print]	2022
Bieber T, Feist E, Irvine AD, Harigai M, Haladyj E, Ball S, Deberdt W, Issa M, Grond S, Taylor PC.	A Review of Safety Outcomes from Clinical Trials of Baricitinib in Rheumatology, Dermatology and COVID-19.	Adv Ther.	39(11):	4910-4960.	2022
Sugimoto N, Tanaka E, Inoue E, Abe M, Sugano E, Sugitani N, Saka K, Ochiai M, Higuchi Y, Yamaguchi R, Ikari K, Nakajima A, Yamanaka H, Harigai M.	Trends in Risks of Malignancies in Japanese Patients with Rheumatoid Arthritis: Analyses from a 14-year Observation of the IORRA Cohort.	Mod Rheumatol.	doi: 10.1093/mr/roac085	[Epub ahead of print]	2022
Sakai R, Tanaka E, Majima M, Harigai M.	Unincreased risk of hospitalized infection under targeted therapies versus methotrexate in elderly patients with rheumatoid arthritis: a retrospective cohort study.	Arthritis Res Ther.	24(1):	135	2022

Tanaka E, Inoue E, Abe M, Saka K, Sugano E, Ochiai M, Yamaguchi R, Ikari K, Yamanaka H, Harigai M.	Changes in treatment adherence and behaviour during the COVID-19 pandemic in Japanese patients with rheumatoid arthritis: Results from cross-sectional study in the IORRA cohort.	Mod Rheumatol.	32(6) :	1193-1195	2022
Honda S, Ikari K, Yano K, Terao C, Tanaka E, Harigai M, Kochi Y.	Association of Polygenic Risk Scores With Radiographic Progression in Patients With Rheumatoid Arthritis.	Arthritis Rheumatol.	74(5) :	791-800	2022
Sugano E, Tanaka E, Inoue E, Sakai R, Abe M, Saka K, Sugitani N, Ochiai M, Yamaguchi R, Higuchi Y, Sugimoto N, Ikari K, Nakajima A, Yamanaka H, Harigai M.	Differences in patients' population and efficacy/effectiveness of biologic disease-modifying antirheumatic drugs between randomized controlled trials and real-world settings in patients with rheumatoid arthritis - using the IORRA cohort.	Mod Rheumatol.	32(4) :.	675-685	2022
Tamura N, Azuma T, Misaki K, Yamaguchi R, Hirano F, Sugiyama E, Kanai D, Murakawa Y, Oribe M, Kimata T, Aoki K, Sugiura T, Takasugi K, Takakubo Y, Tomita Y, Isozaki T, Nanki T, Katsuyama N, Kuroiwa T, Oshikawa H, Kaneko M, Fujinaga H, et al.	Effectiveness and safety of subcutaneous abatacept in biologic-naïve RA patients at Week 52: A Japanese multicentre investigational study (ORIGAMI study).	Mod Rheumatol.	32(5) :	846-856	2022

Harigai M, Tsuritani K, Yoshizawa Y, Atsumi T, Tanaka Y.	Long-term safety and effectiveness of abatacept in Japanese patients with rheumatoid arthritis: 3-year follow-up of a postmarketing surveillance.	Mod Rheumatol.	32(3).	:508-516	2022
Yamaguchi R, Tanaka E, Nakajima A, Inoue E, Abe M, Sugano E, Sugitani N, Saka K, Ochiai M, Higuchi Y, Sugimoto N, Ikari K, Yamanaka H, Harigai M.	Risk of herpes zoster in patients with rheumatoid arthritis in the biologics era from 2011 to 2015 and its association with methotrexate, biologics, and corticosteroids.	Mod Rheumatol.	32(3) :	522-527	2022
Higuchi T, Tanaka E, Inoue E, Abe M, Saka K, Sugano E, Sugitani N, Higuchi Y, Ochiai M, Yamaguchi R, Sugimoto N, Ikari K, Yamanaka H, Harigai M.	Impact of concomitant chronic kidney disease on hospitalised infections and remission in patients with rheumatoid arthritis: results from the IORRA cohort.	Mod Rheumatol.	32(5) :	875-884	2022
Sugihara T, Kawahito Y, Morinobu A, Kaneko Y, Seto Y, Kojima T, Ito, Kohno M, Nakayama T, Sobue Y, Nishida K, Matsushita I, Murashima A, Mori M, Tanaka E, Hirata S, Kishimoto M, Yamanaka H, Kojima M, Harigai M:	Systematic review for the treatment of older rheumatoid arthritis patients informing the 2020 update of the Japan college of rheumatology clinical practice guidelines for the management of rheumatoid arthritis.	Modern Rheumatology	32	313-322	2022

Sugihara T	Treatment strategies for elderly-onset rheumatoid arthritis in the new era.	Modern Rheumatology	32	493-499	2022
Akiyama M, Kaneko Y	Pathogenesis, clinical features, and treatment strategy for rheumatoid arthritis-associated interstitial lung disease.	Autoimmun Rev.	May 21(5)	103056	2022
Takanashi S, Kaneko Y, Takeuchi T.	Characteristics of patients with difficult-to-treat rheumatoid arthritis in clinical practice.	Rheumatology (Oxford)	Nov. 3:60(11)	5247-5256	2021
Kaneko Y.	Interleukin-6 inhibitors for the treatment of adult-onset Still's disease.	Mod Rheumatol.	Jan 5:32(1)	12 月 15 日	2022
Sobue Y, Kojima T, Ito H, Nishida K, Matsushita I, Kaneko Y, Kishimoto M, Kohno M, Sugihara T, Seto Y, Tanaka E, Nakayama T, Hirata S, Murashima A, Morinobu A, Mori M, Kojima M, Kawahito Y, Harigai M.	Does exercise therapy improve patient-reported outcomes in rheumatoid arthritis? A systematic review and meta-analysis for the update of the 2020 JCR guidelines for the management of rheumatoid arthritis.	Mod Rheumatol.	Jan 5:32(1)	96-104.	2022

Taylor PC, Alten R, Álvaro Gracia JM, Kaneko Y, Walls C, Quebe A, Jia B, Bello N, Terres JR, Fleischmann R.	Achieving pain control in early rheumatoid arthritis with baricitinib monotherapy or in combination with methotrexate versus methotrexate monotherapy.	RMD Open.	Mar, 8(1)	e001994	
Uchiyama S, Takanashi S, Takeno M, Gono T, Kaneko Y, Takeuchi T, Kuwana M.	Should we reconsider the definition of elderly-onset rheumatoid arthritis in an ageing society?	Mod Rheumatol.	Feb 28;32(2)	323-329	2022
Kaneko Y, Takeuchi T.	Interleukin-6 inhibition: a therapeutic strategy for the management of adult-onset Still's disease.	Expert Opin Biol Ther.	Jan;22(1):	79-85.	2022
Tanemura S, Seki N, Tsujimoto H, Saito S, Kikuchi J, Sugahara K, Yoshimoto K, Suzuki K, Kaneko Y, Chiba K, Takeuchi T.	Role of interferons (IFNs) in the differentiation of T peripheral helper (Tph) cells. 2022	Int Immunol.	Sep 9;34(10):	533-544.	2022
Ito H, Murata K, Sobue Y, Kojima T, Nishida K, Matsushita I, Kawahito Y, Kojima M, Hirata S, Kaneko Y, Kishimoto M, Kohno M, Mori M, Morinobu A, Murashima A, Seto Y, Sugihara T, Tanaka E, Nakayama T, Harigai M.	Comprehensive risk analysis of postoperative complications in patients with rheumatoid arthritis for the 2020 update of the Japan College of Rheumatology clinical practice guidelines for the management of rheumatoid arthritis.	Mod Rheumatol.	Feb 28;32(2):	296-306.	2022

Tanemura S, Tsujimoto H, Seki N, Kojima S, Miyoshi F, Sugahara K, Yoshimoto K, Suzuki K, Kaneko Y, Chiba K, Takeuchi T.	Role of interferons (IFNs) in the differentiation of T peripheral helper (Tph) cells.	Int Immunol.	Sep 9;34(10)	519-532.	2022
Akiyama M, Yoshimoto K, Ishigaki S, Suzuki K, Takeuchi T, Kaneko Y.	Disease-specific expansion of CD29+IL-17RA+ T effector cells possessing multiple signaling pathways in spondyloarthritis.	Rheumatology (Oxford).	7-Jul	keac391.	2022
Ono K, Kishimoto M, Deshpande GA, Fukui S, Kawaai S, Sawada H, Matsuura M, Rodriguez VR, Proft F, Tada K, Tamura N, Taniguchi Y, Hirata A, Kameda H, Tsuji S, Kaneko Y, Dobashi H, Okano T, Haji Y, Morita A, Okada M, Komagata Y, Medina CL, Molto A, Dougados M, Hisamatsu T, Tomita T, Kaname S.	Clinical characteristics of patients with spondyloarthritis and inflammatory bowel disease versus inflammatory bowel disease-related arthritis.	Rheumatol Int.	Oct;42(10)	1751-1766.	2022
Tanaka E, Kawahito Y, Kohno M, Hirata S, Kishimoto M, Kaneko Y, Tamai H, Seto Y, Morinobu A, Sugihara T, Murashima A, Kojima M, Mori M, Ito H, Kojima T, Sobue Y, Nishida K, Matsushita I, Nakayama T, Yamanaka H, Harigai M.	Systematic review and meta-analysis of biosimilar for the treatment of rheumatoid arthritis informing the 2020 update of the Japan College of Rheumatology clinical practice guidelines for the management of rheumatoid arthritis.	Mod Rheumatol.	Jan 5;32(1)	74-86.	2022

Kawahito Y, Morinobu A, Kaneko Y, Kohno M, Hirata S, Kishimoto M, Seto Y, Sugihara T, Tanaka E, Ito H, Kojima T, Matsushita I, Nishida K, Mori M, Murashima A, Yamanaka H, Nakayama T, Kojima M, Harigai M.	Drug Treatment Algorithm and Recommendations from the 2020 update of the Japan College of Rheumatology Clinical Practice Guidelines for the Management of Rheumatoid Arthritis-Secondary Publication.	Mod Rheumatol.	Mar 16:17	roac017.	2022
Hanaoka H, Kikuchi J, Hiramoto K, Saito S, Kondo Y, Kaneko Y.	Decreased chronic kidney disease in rheumatoid arthritis in the era of biologic disease-modifying anti-rheumatic drugs.	Clin Kidney J.	Jan 31;15(7):1373-1378	1373-1378	2022.
Kuramoto N, Saito S, Fujii T, Kaneko Y, Saito R, Tanaka M, Takada H, Nakano K, Saito K, Sugimoto N, Sasaki S, Harigai M, Suzuki Y.	Characteristics of rheumatoid arthritis with immunodeficiency-associated lymphoproliferative disorders to regress spontaneously by the withdrawal of methotrexate and their clinical course: A retrospective, multicenter, case-control study.	Mod Rheumatol.	Jan 5;32(1):24-31.	24-31.	2022
Kaneko Y, Sakurai M, Snijder R, Kokubo S, Kato D.	A Retrospective, Longitudinal Study of Rheumatoid Arthritis Treatment Patterns with Janus Kinase Inhibitors and Other Disease-Modifying Antirheumatic Drugs in Japan.	Mod Rheumatol.	May 27:17	roac046	2022

Sobue Y, Kojima M, Kojima T, Ito H, Nishida K, Matsushita I, Hirata S, Kaneko Y, Kishimoto M, Kohno M, Murashima A, Morinobu A, Mori M, Nakayama T, Sugihara T, Seto Y, Tanaka E, Hasegawa M, Kawahito Y, Harigai M.	Patient satisfaction with total joint replacement surgery for rheumatoid arthritis: a questionnaire survey for the 2020 update of the Japan college of rheumatology clinical practice guidelines.	Mod Rheumatol.	Jan 5;32(1):	121-126.	2022
Tanaka Y, Yamaguchi A, Miyamoto T, Tanimura K, Iwai H, Kaneko Y, Takeuchi T, Amano K, Iwamoto N, Kawakami A, Murakami M, Nishimoto N, Atsumi T, Sumida T, Ohmura K, Mimori T, Yamanaka H, Fujio K, Fujino Y, Saito K, Nakano K, Hirata S, Nakayamada S.	Selection of treatment regimens based on shared decision-making in patients with rheumatoid arthritis on remission in the FREE-J study.	Rheumatology (Oxford).	Feb 8:	keac075.	2022
Tamai H, Nishina N, Kikuchi J, Izumi K, Otomo K, Yoshimoto K, Yamaoka K, Takeuchi T, Kaneko Y.	Serum cytokines and bone metabolic markers in patients with rheumatoid arthritis treated with biological disease modifying anti-rheumatic drugs.	Clin Rheumatol.	Sep 26.		2022

Nakano K, Tanaka Y, Saito K, Kaneko Y, Saito S, Tanaka M, Saito R, Fujii T, Kuramoto N, Sugimoto N, Takada H, Harigai M, Sasaki S, Suzuki Y.	Treatment of rheumatoid arthritis after regression of lymphoproliferative disorders in patients treated with methotrexate: a retrospective, multi-center descriptive study.	Mod Rheumatol.	Jan 5;32(1)	41-49.	2022
Takada H, Kaneko Y, Nakano K, Tanaka M, Fujii T, Saito K, Sugimoto N, Sasaki S, Saito S, Saito R, Kuramoto N, Harigai M, Suzuki Y.	Clinicopathological characteristics of lymphoproliferative disorders in 232 patients with rheumatoid arthritis in Japan: A retrospective, multicenter, descriptive study.	Mod Rheumatol.	Jan 5;32(1):	32-40.	2022
Saito R, Tanaka M, Ito H, Kuramoto N, Fujii T, Saito S, Kaneko Y, Nakano K, Saito K, Takada H, Sugimoto N, Sasaki S, Harigai M, Suzuki Y.	Overall survival and post-spontaneous regression relapse-free survival of patients with lymphoproliferative disorders associated with rheumatoid arthritis: a multi-center retrospective cohort study.	Mod Rheumatol.	Jan 5;32(1)	50-58.	2022
Tsuboi H, Kaneko Y, Ikeda K, Aranishi T, Cai Z, Ishizuka T.	Current status of shared decision making for rheumatoid arthritis treatment in Japan: a web-based survey on physicians and patients.	Curr Med Res Opin.	May;38(5):	853-861.	2022

Tanaka H, Asakura T, Kikuchi J, Ishii M, Namkoong H, Kaneko Y, Fukunaga K, Hasegawa N.	Development of Rheumatoid Arthritis in Cavitory Mycobacterium avium Pulmonary Disease: A Case Report of Successful Treatment with CTLA4-Ig (Abatacept)	Infect Drug Resist.	Jan 11;15	91-97	2022
Takanashi S, Takeuchi T, Kaneko Y.	Impacts of ageing on rheumatoid factor and anti-cyclic citrullinated peptide antibody positivity in patients with rheumatoid arthritis.	J Rheumatol.	Nov 1: jrheum.	220526	2022
Miyamae T, Inoue E, Tanaka E, Kawabe T, Ikari K, Harigai M.	Association of Disease Activity Using SDAI and DAS-28, but not JADAS-27, with Subsequent Changes in Physical Function in Adult Patients with Juvenile Idiopathic	Mod Rheumatol.	Jun.	Epub ahead	2022

Narazaki H, Akioka S, Akutsu Y, Araki M, Fujieda M, Fukuhara D, Hara R, Hashimoto K, Hattori S, Hayashibe R, Imagawa T, Inoue Y, Ishida H, Ito S, Itoh Y, Kawabe T, Kitoh T, Kobayashi I, Matsubayashi T, Miyamae T, Mizuta M, Mori M, Murase A, Nakagishi Y, Nagatani K, Nakano N, Nishimura T, Nozawa T, Okamoto N, Okura Y, Sawada H, Sawanobori E, Sugita Y, Tanabe Y, Tomiita M, Yamaguchi KI, Yasuoka R, Yokoyama K.	Epidemiology and conduction of paediatric rheumatic diseases based on the registry database of the Pediatric Rheumatology Association of Japan.	Mod Rheumatol.	Sep.	of print. PMID: 36112493.	2022
Yamanaka H, Ohashimoto M, Nishijima N, et al	Socioeconomic impact of treatment with biological disease-modifying antirheumatic drugs in Japanese patients with rheumatoid arthritis.	Mod Rheumatol Jan 11, 2023.	online ahead of print	online ahead of print	2023
Kojima M, Kawahito Y, Sugihara T, Kojima T, Harada R, Hirata S, Hashimoto M, Hidaka T, Ishikawa H, Ito H, O Kishimoto M, et al	Late-onset rheumatoid arthritis registry study, LORIS study: study protocol and design	BMC Rheumatol	6(1)	90	2022

Salinas CA, Louder A, Polinski J, Zhang TC, Bower H, Phillips S, Song Y, Rashidi E, Bosan R, Chang HC, Foster N, Gershenson B, Yamanaka H, Kishimoto M, et al.	B023 Study Consortium: Evaluation of VTE, MACE, and serious infections among patients with RA treated with baricitinib compared to TNFi: a multi-database study of patients in routine care using disease registries and claims databases	Rheumatol Ther	10	201-223	2023
河野正孝、川人豊	かかりつけ医も知っておきたい関節リウマチ 関節リウマチ最新・薬物治療の実際	Clinic Magazine	49(5)	34-38	2022
Hiromu Ito, Keiichiro Nishida, Toshihisa Kojima, Isao Matsushita, Masayo Kojima, Shintaro Hirata, Yuko Kaneko, Mitsumasa Kishimoto, Masataka Kohno, Masaaki Mori, Akio Morinobu, Atsuko Murashima, Yohei Seto, Takahiko Sugihara, Eiichi Tanaka, Takeo Nakayama, Hisashi Yamanaka, Yutaka Kawahito, Masayoshi Harigai	Non-drug and surgical treatment algorithm and recommendations for the 2020 update of the Japan College of Rheumatology clinical practice guidelines for the management of rheumatoid arthritis-secondary publication.	Modern rheumatology	33(1)	36-45	2023

Masayo Kojima, Yutaka Kawahito, Takahiko Sugihara, Toshihisa Kojima, Ryoza Harada, Shintaro Hirata, Motomu Hashimoto, Toshihiko Hidaka, Hajime Ishikawa, Hiromu Ito, Mitumasa Kishimoto, Yuko Kaneko, Kazuo Matsui, Toshihiro Matsui, Isao Matsushita, Akio Morinobu, Keiichiro Nishida, Eiichi Tanaka, Asami Abe, Michinori Ishitoku, Shuji Asai, Takashi Kida, Akira Onishi, Satoshi Takanashi, Masayoshi Harigai	Late-onset rheumatoid arthritis registry study, LORIS study: study protocol and design.	BMC rheumatology	6(1)	90-90	2022
Yasumori Sobue, Mochihito Suzuki, Yoshifumi Ohashi, Hiroshi Koshima, Nobuyuki Okui, Koji Funahashi, Hisato Ishikawa, Hidenori Inoue, Masayo Kojima, Shuji Asai, Kenya Terabe, Kenji Kishimoto, Masataka Maeda, Daisuke Kihira, Shiro Imagama, Toshihisa Kojima	Validation of grip strength as a measure of frailty in rheumatoid arthritis.	Scientific reports	12(1)	21090-21090	2022

Yoshifumi Ohashi, Nobunori Takahashi, Yasumori Sobue, Mochihito Suzuki, Kyosuke Hattori, Kenji Kishimoto, Kenya Terabe, Shuji Asai, Toshihisa Kojima, <u>Masayo Kojima</u> , Shiro Imagama	Disease activity at baseline is an independent predictor of frailty at one year in pre-frail patients with rheumatoid arthritis; a multicenter retrospective observational study.	Journal of orthopaedic science : official journal of the Japanese Orthopaedic Association			2022
Yasumori Sobue, Mochihito Suzuki, Yoshifumi Ohashi, Hiroshi Koshima, Nobuyuki Okui, Koji Funahashi, Hisato Ishikawa, Hidenori Inoue, <u>Masayo Kojima</u> , Shuji Asai, Kenya Terabe, Kyosuke Hattori, Kenji Kishimoto, Nobunori Takahashi, Shiro Imagama, Toshihisa Kojima	Locomotive syndrome in rheumatoid arthritis patients during the COVID-19 pandemic.	Nagoya journal of medical science	84(4)	799-812	2022
Yasumori Sobue, Mochihito Suzuki, Yoshifumi Ohashi, Hiroshi Koshima, Nobuyuki Okui, Koji Funahashi, Hisato Ishikawa, Hidenori Inoue, <u>Masayo Kojima</u> , Shuji Asai, Kenya Terabe, Kyosuke Hattori, Kenji Kishimoto, Nobunori Takahashi, Shiro Imagama, Toshihisa Kojima	Association between locomotive syndrome and methotrexate discontinuation due to adverse events in rheumatoid arthritis patients: A retrospective observational study.	Geriatrics & gerontology international	22(10)	904-905	2022

安岡 実佳子, 肥田 武, 藤川 寛之, 永谷 祐子, 川口 洋平, 黒柳 元, 上用 祐土, 坂井 宏章, 三井 祐人, 渡邊 良太, 渡邊 美貴, 鈴木 貞夫, <u>小嶋 雅代</u>	関節リウマチ患者のフレイル予防行動の継続に関わる要因の検討 運動・食生活・社会参加の自由記述調査から	東海公衆衛生雑誌	10(1)	196-202	2022
<u>小嶋 雅代</u> , 杉原 毅彦, 松井 利浩, 田中 榮一, 小嶋 俊久, 大西 輝, 伊藤 宣, 川人 豊, 針谷 正祥	高齢発症関節リウマチの治療戦略の確立 既存疫学データによる治療実態の把握	日本老年医学会雑誌	59(Suppl.)	110-110	2022
Yoshifumi Ohashi, Nobunori Takahashi, Yasumori Sobue, Mochihito Suzuki, Kyosuke Hattori, Kenji Kishimoto, Kenya Terabe, Syuji Asai, Toshihisa Kojima, <u>Masayo Kojima</u> , Shiro Imagama	Factors Associated With Frailty in Rheumatoid Arthritis Patients With Decreased Renal Function.	Modern rheumatology			2022
Mikako Yasuoka, Toshihisa Kojima, Yuko Waguri-Nagaya, Tami Saito, Nobunori Takahashi, Shuji Asai, Yasumori Sobue, Tsuyoshi Nishiume, Mochihito Suzuki, Hiroto Mitsui, Yohei Kawaguchi, Gen Kuroyanagi, Koto Kamiji, Miki Watanabe, Sadao Suzuki, Katsunori Kondo, Toshiyuki Ojima, <u>Masayo Kojima</u>	Impact of social support on severity of depressive symptoms by remission status in patients with rheumatoid arthritis.	Modern rheumatology	32(3)	528-533	2022

平田 信太郎	【関節リウマチと周辺疾患 アンメット・メディカル・ ニーズに挑む】関節リウマ チ診療の現在 関節リウマ チの診療ガイドライン	Medical Practice	40 巻 2 号	190-197	2023. 02
平田 信太郎	【関節リウマチ治療の最前 線】生物学的製剤	医学と薬学	79 巻 8 号	1029-1038	2022. 07
平田 信太郎	【最新関節リウマチ学(第 2 版)-寛解・治癒を目指した 研究と最新治療-】特論 ド ラッグホリデー	日本臨床	80 巻増刊 4 最新関節 リウマチ 学	633-637	2022. 04
平田 信太郎, 園本 格士朗	関節リウマチ(RA)日常診療 における各種画像検査の適 切な選択、間隔、アウトカ ムとしての意義は? 超音 波・MRI は炎症評価時に適 宜、単純 X 線は治療効果判 定で 6~12 ヶ月ごとの反復 評価を推奨する	日本医事新報	5117 号	55	2022. 05
平田 信太郎	【関節リウマチの治療の現 状と問題点】生物学的製剤 の二次無効とその対策	リウマチ科	67 巻 4 号	402-406	2022. 04
Watanabe R, Murakami K, Fujisaki T, Ito H, Murata K, Yamamoto W, Fujii T, Onizawa H, Onishi A, Tanaka M, Morinobu A, Hashimoto M.	Baseline erythrocyte sedimentation rate level predicts long-term inhibition of radiographic progression by tocilizumab: the KURAMA cohort.	Immunol Med.	2023 年 1 月号	1-9	2023. 1

Watanabe R, Kadoba K, Tamamoto A, Murata K, Murakami K, Onizawa H, Fujii T, Onishi A, Tanaka M, Ito H, Morinobu A, Hashimoto M.	CD8+ Regulatory T Cell Deficiency in Elderly- Onset Rheumatoid Arthritis	J Clin Med	12 卷 6 号	2342-	2023. 3
Sugimoto A, Fujimoto M, Fujii H, Takeuchi Y, Hirata M, Usui S, Nakamizo S, Ikezoe K, Ikeo S, Yamada Y, Minamiguchi S, Morinobu A, Haga H.	Fatal case of methotrexate-associated primary cutaneous extranodal NK/T-cell lymphoma of gamma delta phenotype.	Histopatholog y	81 卷 6 号	849-952	2022. 12.
Masui S, Yonezawa A, Yokoyama K, Iwamoto N, Shimada T, Onishi A, Onizawa H, Fujii T, Murakami K, Murata K, Tanaka M, Nakagawa S, Hira D, Itohara K, Imai S, Nakagawa T, Hayakari M, Matsuda S, Morinobu A, Terada T, Matsubara K.	N-terminus of Etanercept is Proteolytically Processed by Dipeptidyl Peptidase-4.	Pharm Res.	39 卷 10 号	2541-2554	2022. 10.
Iwasaki T, Watanabe R, Ito H, Fujii T, Okuma K, Oku T, Hirayama Y, Ohmura K, Murata K, Murakami K, Yoshitomi H, Tanaka M, Matsuda S, Matsuda F, Morinobu A, Hashimoto M.	Dynamics of Type I and Type II Interferon Signature Determines Responsiveness to Anti- TNF Therapy in Rheumatoid Arthritis.	Front Immunol.	13 卷	901437	2022. 6.
森信暁雄	膠原病における分子標的薬	日本内科学会 雑誌	111 卷 9 号	1829-1833	2022. 9.

森信暁雄	関節リウマチおよび膠原病 のエビデンスに基づく免疫 療法	臨床免疫・ア レルギー科	78 巻 1 号	26-30	2022. 7
森信暁雄	開発中、申請中の標的型抗 リウマチ薬	日本臨床	増刊 4 号	479-483	2022. 4
Hoshi Y, Shimizu M, Shimbo A, Yamazaki S, <u>Mori M.</u>	Overt myositis in a girl with systemic lupus erythematosus.	Pediatr Int.	64(1)	e15338	2022 Jan
Kojima M, Hasegawa M, Hirata S, Ito H, Kaneko Y, Kishimoto M, Kohno M, Kojima T, Matsushita I, <u>Mori M</u> , Morinobu A, Murashima A, Nishida K, Seto Y, Sobue Y, Sugihara T, Tanaka E, Nakayama T, Kawahito Y, Harigai M.	Patients' perspectives of rheumatoid arthritis treatment: a questionnaire survey for the 2020 update of the Japan college of rheumatology clinical practice guidelines.	Mod Rheumatol.	28;32(2)	307-312	2022 Feb
Sugihara T, Kawahito Y, Morinobu A, Kaneko Y, Seto Y, Kojima T, Ito H, Kohno M, Nakayama T, Sobue Y, Nishida K, Matsushita I, Murashima A, <u>Mori M</u> , Tanaka E, Hirata S, Kishimoto M, Yamanaka H, Kojima M, Harigai M.	Systematic review for the treatment of older rheumatoid arthritis patients informing the 2020 update of the Japan College of Rheumatology clinical practice guidelines for the management of rheumatoid arthritis.	Mod Rheumatol.	28;32(2)	313-322	2022 Feb
Kondo F, Sugihara T, Umezawa N, Hasegawa H, Hosoya T, Kimura N, <u>Mori M</u> , Yasuda S.	Associated factors with poor treatment response to initial glucocorticoid therapy in patients with adult-onset Still's disease.	Arthritis Res Ther.	29;24(1)	92	2022 Apr

Shimizu M, Takei S, <u>Mori M</u> , Yachie A.	Pathogenic roles and diagnostic utility of interleukin-18 in autoinflammatory diseases. 2022 Sep 22;13:951535. doi: 10.3389/fimmu.2022.951535. PMID: 36211331; PMCID: PMC9537046. IF:8.786/CI:	Front Immunol.	22;13:	951535	2022 Sep
Narazaki H, Akioka S, Akutsu Y, Araki M, Fujieda M, Fukuhara D, Hara R, Hashimoto K, Hattori S, Hayashibe R, Imagawa T, Inoue Y, Ishida H, Ito S, Itoh Y, Kawabe T, Kitoh T, Kobayashi I, Matsubayashi T, Miyamae T, Mizuta M, <u>Mori M</u> , Murase A, Nakagishi Y, Nagatani K, Nakano N, Nishimura T, Nozawa T, Okamoto N, Okura Y, Sawada H, Sawanobori E, Sugita Y, Tanabe Y, Tomiita M, Yamaguchi KI, Yasuoka R, Yokoyama K.	Epidemiology and conduction of paediatric rheumatic diseases based on the registry database of the Pediatric Rheumatology Association of Japan.	Mod Rheumatol.	Epub ahead of print.		2022 Sep

Mouri M, Kanamori T, Tanaka E, Hiratoko K, Okubo M, Inoue M, Morio T, Shimizu M, Nishino I, Okiyama N, <u>Mori M.</u>	Hepatic veno-occlusive disease accompanied by thrombotic microangiopathy developing during treatment of juvenile dermatomyositis and macrophage activation syndrome: A case report.	Mod Rheumatol .	Epub ahead of print.		2022 Nov
Wakatsuki R, Shimizu M, Shimbo A, Adachi E, Kanamori T, Yamazaki S, Udagawa T, Takasawa K, Kashimada K, Morio T, <u>Mori M.</u>	Atrophic autoimmune thyroiditis complicated with systemic lupus erythematosus.	Mod Rheumatol Case Rep.	7(1)	65-67	2023 Jan
Kaneko S, Shimizu M, Miyaoka F, Shimbo A, Irabu H, Mizuta M, Nakagishi Y, Iwata N, Fujimura J, <u>Mori M.</u> , Morio T.	The dynamics of laboratory markers reflecting cytokine overproduction in macrophage activation syndrome complicated with systemic juvenile idiopathic arthritis.	Clin Immunol.	Epub ahead of print.		2023 Feb
森 雅亮	若年性特発性関節炎における疾患活動性評価. 特集 IL-6 阻害療法の基礎と臨床.	リウマチ科	69(1)	90	2023. 1
森 雅亮	血管炎症候群（川崎病，高安動脈炎，ANCA 関連血管炎など）特集 分子標的薬を極める.	小児内科	55(2)	213-216	2023. 2
森 雅亮	膠原病・リウマチ疾患. 特集 その道のプロの経験から学ぶ 小児診療のピットフォール.	小児科	64(2)	143-151	2023. 2

森 雅亮	【最新関節リウマチ学(第2版)-寛解・治癒を目指した研究と最新治療-】 関節リウマチの治療 治療総論 小児、移行期における治療戦略 若年性特発性関節炎に承認されている抗リウマチ薬を中心に	最新関節リウマチ学	80(増刊 4)	324-330	2022. 04
森 雅亮	IVIG 抵抗性川崎病に対するアナキンラの有効性と安全性	リウマチ科	67(4)	462-467	2022. 04
森 雅亮	膠原病・リウマチ性疾患	小児科臨床	75(3)	481-486	2022. 06
森 雅亮	【成人患者における小児期発症慢性疾患】 成人期における主な小児期発症疾患の病態・管理 膠原病・リウマチ性疾患・自己炎症性疾患 若年性特発性関節炎	小児内科	54(9)	1598-1604	2022. 09
森 雅亮	治療法の再整理とアップデートのために、専門家による私の治療 若年性特発性関節炎(JIA).	日本医事新報	5148	43-44	2022. 12
森 雅亮	若年性特発性関節炎(JIA).	私の治療	5148	43	2022. 12
川人豊	関節リウマチガイドライン2020	日本内科学会雑誌	111(3)	492-496	2022
妹尾高宏, 川人 豊.	Difficult to treat(D2T)RAとその対応を考える. 合併症を有する RA	リウマチ科	68(6)	666-672	2022
川人豊	集学的アプローチの必要性からみた整形外科リウマチ専門医のニーズ	臨床整形外科	57(7)	871-876	2022

河野正孝、川人豊	関節リウマチの治療 治療 総論 日本リウマチ学会の 診療ガイドライン	日本臨床：最 新関節リウマ チ学	80 巻	292-297	2022
Fukuda W, Kadoya M, Omoto A, Yanagida T, Isoda Y, Sunaga A, Kusuoka H, Ueno K, Morita S, Kohno M, Kawahito Y.	Treatment of rheumatoid arthritis and its outcomes in an aging society: a single-center cohort study in Japan from 2011 to 2020.	Arthritis Res Ther.	24(1)	190	2022
Kawahito Y*, Morinobu A, Kaneko Y, Kohno M, Hirata S, Kishimoto M, Seto Y, Sugihara T, Tanaka E, Ito H, Kojima T, Matsushita I, Nishida K, Mori M, Murashima A, Yamanaka H, Nakayama T, Kojima M, Harigai M.	Drug Treatment Algorithm and Recommendations from the 2020 update of the Japan College of Rheumatology Clinical Practice Guidelines for the Management of Rheumatoid Arthritis- Secondary Publication.	Mod Rheumatol.	33(1)	21-35	2023
Ohashi Y et al.	Disease activity at baseline is an independent predictor of frailty at one year in pre-frail patients with rheumatoid arthritis; a multicenter retrospective observational study	J Orthop Sci .	Nov 29	S0949- 2658(22)0030 8-6. doi: 10.1016/j.jo s.2022.10.02 5.	2022
Asai S et al	Increased prevalence of Staphylococcus aureus nasal carriage in rheumatoid arthritis patients with moderate/high disease activity	J Orthop Sci.	Oct 7;	S0949- 2658(22)0025 5-X. doi: 10.1016/j.jo s.2022.09.01 4.	2022

Sobue Y et al.	Association between locomotive syndrome and methotrexate discontinuation due to adverse events in rheumatoid arthritis patients: A retrospective observational study	Geriatr Gerontol Int.	22(10)	904-905	2022
Terabe K et al.	Reasons and Risk Factors For Discontinuation of Treatment with Any Biological Disease-Modifying Antirheumatic Drugs in Patients with Rheumatoid Arthritis: A Long-term Observational Study	Mod Rheumatol	17-Aug	doi: 10.1093/mr/r oac090. Online ahead of print	2022
Ohashi Y et al.	Factors associated with frailty in rheumatoid arthritis patients with decreased renal function	Mod Rheumatol	33(2)	323-329	2023
Suzuki M et al	Influence of frailty on patient global assessment in rheumatoid arthritis.	Geriatr Gerontol Int.	22(5)	399-404	2022
Terabe K et al.	Effectiveness of tacrolimus concomitant with biological disease-modifying antirheumatic drugs in patients with rheumatoid arthritis	Mod Rheumatol.	33(2)	292-301	2023

Tanaka Y, Takahashi T, Sumi M, Hagino O, van Hoogstraten H, Xu C, Kato N, Kameda H.	Immunogenicity of sarilumab and impact on safety and efficacy in Japanese patients with rheumatoid arthritis: analysis of two phase 3 randomized clinical trials	Mod Rheumatol	32(4)	686-695	2022
Kameda H, Nishida K, Nanki T, Watanabe A, Oshima Y, Momohara S.	Safety and Effectiveness of Certolizumab Pegol in Japanese Patients with Rheumatoid Arthritis: Results from a 24-Week Post-Marketing Surveillance Study.	Mod Rheumatol			in press
Tamai H, Ikeda K, Miyamoto T, Taguchi H, Kuo CF, Shin K, Hirata S, Okano Y, Sato S, Yasuoka H, Kuwana M, Ishii T, Kameda H, Kojima T, Taninaga T, Mori M, Miyagishi H, Sato Y, Tsai WC, Takeuchi T, Kaneko Y, collaborators.	Reduced versus maximum tolerated methotrexate dose concomitant with tumornecrosis factor inhibitor in patients with rheumatoid arthritis (MIRACLE): a randomised, open-label, non-inferiority trial.	Lancet Rheumatol	5	e215-e224	
Tanaka Y, Takahashi T, Van Hoogstraten H, Praestgaard A, Kato N, Kameda H.	Haemoglobin changes and disease activity in Japanese patients with rheumatoid arthritis treated with sarilumab.	Clin Exp Rheumatol			in press

黒江ゆり子, 房間美恵	関節リウマチとともに生きる人々のレジリエンスを支えるために—Living with Chronicity の視点から—	臨床リウマチ	34(1)	4-15	2022
Jones B, Bennett S, Larsson I, Zangi HA, Boström C, Van der Elst K, Fayet F, Fusama M, Herrero Manso MDC, Hoepfer JR, Kukkurainen ML, Kwok SK, Fräzaio-Mateus E, Minnock P, Nava T, Pavic Nikolic M, Primdahl J, Rawat R, Schoenfelder M, Sierakowska M, Voshaar M, Wammervold E, van Tubergen A, Ndosì M.	Disseminating and assessing implementation of the EULAR recommendations for patient education in inflammatory arthritis: a mixed-methods study with patients' perspectives	RMD Open	8(1)	e002256	2022
Bennett SE, Zangi HA, Larsson I, Beauvais C, Boström C, Domján A, van Eijk-Hustings Y, Van der Elst K, Fayet F, Ferreira RJO, Fusama M, Geneva-Popova M, Herrero Manso MDC, Hoepfer K, Jones B, Kukkurainen ML, Gladys Kwok SK, Minnock P, Nava T, Primdahl J, Rawat R, Sierakowska M, Stoffer-Marx M, van Tubergen A, Ndosì M.	Assessing acceptability and identifying barriers and facilitators to implementation of the EULAR recommendations for patient education in inflammatory arthritis: a mixed-methods study with rheumatology professionals in 23 European and Asian countries	Ann Rheum Dis	81(10)	1348-1357	2022

Narazaki H, Akioka S, Akutsu Y, Araki M, Fujieda M, Fukuhara D, Hara R, Hashimoto K, Hattori S, Hayashibe R, Imagawa T, Inoue Y, Ishida H, Ito S, Itoh Y, Kawabe T, Kitoh T, Kobayashi I, Matsubayashi T, Miyamae T, Mizuta M, Mori M, Murase A, Nakagishi Y, Nagatani K, Nakano N, Nishimura T, Nozawa T, <u>Okamoto N</u> , Okura Y, Sawada H, Sawanobori E, Sugita Y, Tanabe Y, Tomiita M, Yamaguchi KI, Yasuoka R, Yokoyama K.	Epidemiology conduction of paediatric rheumatic diseases based on the registry database of the Pediatric Rheumatology Association of Japan.	Mod Rheum	doi: 10.1093/m r/roac112		2022
Takagi M, Atsumi T, Matsuno H, Tamura N, Fujii T, <u>Okamoto N</u> , Takahashi N, Nakajima A, Nakajima A, Tsujimoto N, Nishikawa A, Ishii T, Takeuchi T, Kuwana M	Safety and Effectiveness of Baricitinib for Rheumatoid Arthritis in Japanese Clinical Practice: 24-Week Results of All-Case Post- Marketing Surveillance	Mod Rheum	doi: 10.1093/m r/roac089		2022
岡本奈美	小児の慢性関節炎分類基準 の歴史（総説）	臨床リウマチ	34	184-193	2022

Masaki Shimizu, Kenichi Nishimura, Naomi Iwata, Takahiro Yasumi, Hiroaki Umebayashi, Yasuo Nakagishi, Yuka Okura, <u>Nami Okamoto</u> , Noriko Kinjo, Mao Mizuta, Masato Yashiro, Junko Yasumura, Hiroyuki Wakiguchi, Tomohiro Kubota, Mariko Mouri, Utako Kaneko, Masaaki Mori	Treatment for macrophage activation syndrome associated with systemic juvenile idiopathic arthritis in Japan	Int J Rheum Dis	DOI: 10.1111/1 756- 185X.1468 1		2023
岡本奈美	カナキヌマブ（JIA に承認 された生物学的製剤）	日本臨床	80（増刊 号）	420-425	2022
岡本奈美	若年性特発性関節炎の分類 基準・診断基準	リウマチ科	67	270-278	2022
岡本奈美	フェリチン血症を伴うサイ トカインストーム状態の小 児において鑑別に有用なバ イオマーカー	リウマチ科	68	482-491	2022
岡本奈美	挙児希望をもつ男性・女性 でもリウマチ治療はでき る？	薬局	74	82-85	2023
Takahiko Sugihara, Yutaka Kawahito, Yuko Kaneko, Eiichi Tanaka, Ryo Yanai, Nobuyuki Yajima, Masayo Kojima, Masayoshi Harigai	Systematic review for the treatment of older rheumatoid arthritis patients informing the 2024 update of the Japan College of Rheumatology clinical practice guidelines for the management of rheumatoid arthritis	Mod Rheumatol	Online ahead of print	doi: 10.1093/mr/r oe026.	2024

Matsumoto T, Sugihara T, Hosoya T, Ishizaki T, Kubo K, Kamiya M, Baba H, Tsuchida M, Hirano F, Kojima M, Miyasaka N, Harigai M.	Effectiveness and safety of treat-to-target strategy for methotrexate-naive rheumatoid arthritis patients >75 years of age.	Rheumatol Adv Pract.	8:rkae019 .	10.1093/rap/rkae019	2024
齋藤順平、金子佳代子ら	Establishment of a measurement system to evaluate breast milk transfer of biological agents using dry filter paper: A multi-institutional study.	Br J Clin Pharmacol.	90	146-57	2024
Kojima M, Suzuki K, Takeshita M, Ohyagi M, Iizuka M, Yamane H, Koga K, Kouro T, Kassai Y, Yoshihara T, Adachi R, Hashikami K, Ota Y, Yoshimoto K, Kaneko Y, Morita R, Yoshimura A, Takeuchi T.	Anti-human-TIGIT agonistic antibody ameliorates autoimmune diseases by inhibiting Tfh and Tph cells and enhancing Treg cells.	Commun Biol.	9;6(1)	500	2023
Takanashi S, Kondo Y, Saito S, Kikuchi J, Hanaoka H, Takeuchi T, Kaneko Y.	Effectiveness and safety of rituximab in special types of rheumatoid arthritis	Int J Rheum Dis.	26(11)	2240-2247	2023
Kubo S, Miyazaki Y, Amano K, Matsui K, Kameda H, Inoue Y, Nakayamada S, Ogura T, Kaneko Y, Yamaoka K, Tanaka Y.	Sustained remission following the discontinuation of tofacitinib in patients with rheumatoid arthritis (XANADU study): an open-label randomised study.	RMD Open.	Apr;9(2)	e003029	2023 Apr

Ishigaki S, Kondo Y, Ota Y, Chu PS, Hanaoka H, Takeuchi T, Kaneko Y.	Successful treatment of refractory enteritis and arthritis with combination of TNF and IL-6 inhibition in patients with ulcerative colitis.	Mod Rheumatol Case Rep.	10	rxad031	2023 Jun
Tamai H, Nishina N, Kikuchi J, Izumi K, Otomo K, Yoshimoto K, Yamaoka K, Takeuchi T, Kaneko Y.	Serum cytokines and bone metabolic markers in patients with rheumatoid arthritis treated with biological disease modifying anti-rheumatic drugs.	Clin Rheumatol.	42(3)	721-730	2023 Mar
Saito S, Suzuki K, Yoshimoto K, Kondo Y, Kikuchi J, Hanaoka H, Kaneko Y, Takeuchi T.	Differences in the strength of inhibition of interleukin-6 signalling by subcutaneous sarilumab and tocilizumab in rheumatoid arthritis patients.	Clin Exp Rheumatol.	41(7)	1451-1455.	2023 Jul
Kaneko Y, Sakurai M, Snijder R, Kokubo S, Kato D.	A retrospective, longitudinal study of rheumatoid arthritis treatment patterns with Janus kinase inhibitors and other disease-modifying antirheumatic drugs in Japan.	Mod Rheumatol.	13;33(3)	448-459	2023 Apr
Komagamine M, Komatsu N, Ling R, Okamoto K, Tianshu S, Matsuda K, Takeuchi T, Kaneko Y, Takayanagi H.	Effect of JAK inhibitors on the three forms of bone damage in autoimmune arthritis: joint erosion, periarticular osteopenia, and systemic bone loss.	Inflamm Regen	19;43(1)	44	2023 Sep

Ikeda K, Kaneko Y, Tsujita Y, Kawaguchi I, Patel J, Yamazaki T, Fang S, Kawahito Y.	Healthcare resource utilisation and economic burden of patients with adequate and inadequate responses to biological and targeted synthetic disease-modifying antirheumatic drugs for rheumatoid arthritis in Japan.	Mod Rheumatol.	9:road	106	2023 Nov
Izumi K, Suzuki K, Hashimoto M, Endoh T, Doi K, Iwai Y, Jinzaki M, Ko S, Takeuchi T, Kaneko Y.	Detecting hand joint ankylosis and subluxation in radiographic images using deep learning: A step in the development of an automatic radiographic scoring system for joint destruction.	PLoS One.	13;18(2)	e0281088	2023. Feb
Akiyama M, Alshehri W, Kaneko Y.	Does a window of opportunity for rheumatoid arthritis-associated interstitial lung disease exist?	Autoimmun Rev.	10	103501	2023 Dec
Ito H, Nishida K, Kojima T, Matsushita I, Kojima M, Hirata S, Kaneko Y, Kishimoto M, Kohno M, Mori M, Morinobu A, Murashima A, Seto Y, Sugihara T, Tanaka E, Nakayama T, Yamanaka H, Kawahito Y, Harigai M.	Non-drug and surgical treatment algorithm and recommendations for the 2020 update of the Japan College of Rheumatology clinical practice guidelines for the management of rheumatoid arthritis-secondary publication.	Mod Rheumatol.	3;33(1)	36-45	2023 Jan
Tamai H, Nishina N, Kikuchi J, Izumi K, Otomo K, Yoshimoto K, Yamaoka K, Takeuchi T, Kaneko Y.	Serum cytokines and bone metabolic markers in patients with rheumatoid arthritis treated with biological disease modifying anti-rheumatic drugs.	Clin Rheumatol.	42(3)	721-730	2023

Ishigaki S, Kondo Y, Ota Y, Chu PS, Hanaoka H, Takeuchi T, Kaneko Y.	Successful treatment of refractory enteritis and arthritis with combination of TNF and IL-6 inhibition in patients with ulcerative colitis.	Mod Rheumatol Case Rep.	10	rxad031	2023 Jun
Tamai H, Nishina N, Kikuchi J, Izumi K, Otomo K, Yoshimoto K, Yamaoka K, Takeuchi T, Kaneko Y.	Serum cytokines and bone metabolic markers in patients with rheumatoid arthritis treated with biological disease modifying anti-rheumatic drugs.	Clin Rheumatol.	42(3)	721-730	2023 Mar
Saito S, Suzuki K, Yoshimoto K, Kondo Y, Kikuchi J, Hanaoka H, Kaneko Y, Takeuchi T.	Differences in the strength of inhibition of interleukin-6 signalling by subcutaneous sarilumab and tocilizumab in rheumatoid arthritis patients.	Clin Exp Rheumatol.	41(7)	1451-1455.	2023 Jul
Kaneko Y, Sakurai M, Snijder R, Kokubo S, Kato D.	A retrospective, longitudinal study of rheumatoid arthritis treatment patterns with Janus kinase inhibitors and other disease-modifying antirheumatic drugs in Japan.	Mod Rheumatol.	13;33(3)	448-459	2023 Apr
Komagamine M, Komatsu N, Ling R, Okamoto K, Tianshu S, Matsuda K, Takeuchi T, Kaneko Y, Takayanagi H.	Effect of JAK inhibitors on the three forms of bone damage in autoimmune arthritis: joint erosion, periarticular osteopenia, and systemic bone loss.	Inflamm Regen	19;43(1)	44	2023 Sep

Izumi K, Suzuki K, Hashimoto M, Endoh T, Doi K, Iwai Y, Jinzaki M, Kono S, Takeuchi T, Kaneko Y.	Detecting hand joint ankylosis and subluxation in radiographic images using deep learning: A step in the development of an automatic radiographic scoring system for joint destruction.	PLoS One.	13;18(2)	e0281088	2023. Feb
Akiyama M, Alshehri W, Kaneko Y.	Does a window of opportunity for rheumatoid arthritis-associated interstitial lung disease exist?	Autoimmun Rev.	10	103501	2023 Dec
Ito H, Nishida K, Kojima T, Matsushita I, Kojima M, Hirata S, Kaneko Y, Kishimoto M, Kohno M, Mori M, Morinobu A, Murashima A, Seto Y, Sugihara T, Tanaka E, Nakayama T, Yamanaka H, Kawahito Y, Harigai M.	Non-drug and surgical treatment algorithm and recommendations for the 2020 update of the Japan College of Rheumatology clinical practice guidelines for the management of rheumatoid arthritis-secondary publication.	Mod Rheumatol.	3;33(1)	36-45	2023 Jan
Tamai H, Nishina N, Kikuchi J, Izumi K, Otomo K, Yoshimoto K, Yamaoka K, Takeuchi T, Kaneko Y.	Serum cytokines and bone metabolic markers in patients with rheumatoid arthritis treated with biological disease modifying anti-rheumatic drugs.	Clin Rheumatol.	42(3)	721-730	Tamai H, Nishina N, Kikuchi J, Izumi K, Otomo K, Yoshimoto K, Yamaoka K, Takeuchi T, Kaneko Y.
O'Rourke KS, O'Kishimoto M.	Preface to practical procedures how to do	Best Pract Res Clin Rheumatol	online on Aug 11, 2023	online on Aug 11, 2023	O'Rourke KS, O'Kishimoto M.

Fukui S, Rokutanda R, Kawaai S, Suda M, Iwata F, Okada M, ○Kishimoto M	Current evidence and practical knowledge for ultrasound-guided procedures in rheumatology: Joint aspiration, injection, and other applications	Best Pract Res Clin Rheumatol	online on May 27:101832, 2023	online on May 27:101832, 2023	Fukui S, Rokutanda R, Kawaai S, Suda M, Iwata F, Okada M, ○Kishimoto M
Momohara S, Ikeda K, Tada M, Miyamoto T, Mito T, Fujimoto K, Shoji A, Wakita E, ○Kishimoto M	Patient-Physician Communication and Perception of Treatment Goals in Rheumatoid Arthritis: An Online Survey of Patients and Physicians	Rheumatol Ther	online on May 19, 2023	online on May 19, 2023	2023
Salinas CA, Louder A, Polinski J, Zhang TC, Bower H, Phillips S, Song Y, Rashidi E, Bosan R, Chang HC, Foster N, Gershenson B, Yamanaka H, ○Kishimoto M, Tanaka Y, Fischer P, Zhu B, Faries D, Mai X, Doherty BT, Grelaud A, Thurin NH, Askling J, Deberdt W	B023 Study Consortium: Evaluation of VTE, MACE, and serious infections among patients with RA treated with baricitinib compared to TNFi: a multi-database study of patients in routine care using disease registries and claims databases.	Rheumatol Ther	10(1)	201-223	2023
Kawahito Y, Morinobu A, Kaneko Y, Kohno M, Hirata S, ○Kishimoto M, Seto Y, Sugihara T, Tanaka E, Ito H, Kojima T, Matsushita I, Nishida K, Mori M, Murashima A, Yamanaka H, Nakayama T, Kojima M, Harigai M	Drug Treatment Algorithm and Recommendations from the 2020 update of the Japan College of Rheumatology Clinical Practice Guidelines for the Management of Rheumatoid Arthritis-Secondary Publication.	Mod Rheumatol	33(1)	21-35	2023

Ito H, Nishida K, Kojima T, Matsushita I, Kojima M, Hirata S, Kaneko Y, ○Kishimoto M, Kohno M, Mori M, Morinobu A, Murashima A, Seto Y, Sugihara T, Tanaka E, Nakayama T, Yamanaka H, Kawahito Y, Harigai M	Non-Drug and Surgical Treatment Algorithm and Recommendations for the 2020 Update of the Japan College of Rheumatology Clinical Practice Guidelines for the Management of Rheumatoid Arthritis - Secondary Publication	Mod Rheumatol	33(1)	36-45	2023
Yamanaka H, ○Kishimoto M, Nishijima N, Yamashita K, Matsushima J, O'Brien J, Blachley T, Eliot M, Margolin Z, Dave SS, Tanaka Y	Socioeconomic impact of treatment with biological disease-modifying antirheumatic drugs in Japanese patients with rheumatoid arthritis	Mod Rheumatol	online on Jan 11, 2023	online on Jan 11, 2023	2023
Kojima M, Sugihara T, Kawahito Y, Kojima T, Kaneko Y, Ishikawa H, Abe A, Matsui K, Hirata S, Kishimoto M, Tanaka E, Morinobu A, Hashimoto M, Matsushita I, Hidaka T, Matsui T. Nishida K, Asai S, Ito H, Harada R, Harigai M. and LORIS Study Collaborators	Consensus Statement on the Management of Late-Onset Rheumatoid Arthritis	Modern Rheumatology	DOI: 10.1093/mr/roae011		2023

Mie Fusama, Hideko Nakahara, Misuzu Gregg, Yuriko Kuroe, Yukitomo Urata, Kimito Kawahata, Yutaka Kawahito, Masayo Kojima, Takahiko Sugihara, Motomu Hashimoto, Takako Miyamae, Atsuko Murashima, Masaaki Mori, Nobuyuki Yajima, Toshihiro Matsui	Challenges faced by nurses engaged in rheumatology care in Japan	Modern Rheumatology	DOI:10.10 93/mr/roa d079		2023
平田信太郎	【関節リウマチの最新の理 解とマネジメント】関節リ ウマチの診療ガイドライン	日本内科学会 雑誌	112 巻 10 号	1907-1913	2023. 1
Kojima M, Sugihara T, Kawahito Y, Kojima T, Kaneko Y, Ishikawa H, Abe A, Matsui K, Hirata S, Kishimoto M, Tanaka E, Morinobu A, Hashimoto M, Matsushita I, Hidaka T, Matsui T. Nishida K, Asai S, I Ito H, Harada R, Harigai M. and LORIS Study Collaborators	Consensus Statement on the Management of Late- Onset Rheumatoid Arthritis	Modern Rheumatology	DOI: 10.1093/m r/roae011		2023
平田信太郎	【関節リウマチ治療薬をど う使いこなすか?-副作用と その対策】TNF 阻害薬	リウマチ科	70 巻 3 号	273-276	2023. 09
平田信太郎, 山岡邦宏	関節リウマチ・膠原病診療 のピットフォールを回避す るために(第 1 回) (No. 1) 肺疾患(間質性肺炎, 器質化 肺炎, 胸膜炎)	炎症と免疫	31 巻 2 号	152-158	2023. 02

平田信太郎	【ここが変わった！関節リウマチの治療】リウマチ患者さんの「困った!」「大丈夫?」に対処する 治療はいつまで続くの? 患者さんに治療目標と治療原則を伝える(解説)	薬局	74 巻 3 号	403-407	2023. 03
Fujii T, Murata K, Onizawa H, Onishi A, Tanaka M, Murakami K, Nishitani K, Furu M, Watanabe R, Hashimoto M, Ito H, Fujii T, Mimori T, Morinobu A, Matsuda S.	Management and treatment outcomes of rheumatoid arthritis in the era of biologic and targeted synthetic therapies: evaluation of 10-year data from the KURAMA cohort.	Arthritis Res Ther.	26	16	2024
Iwasaki T, Watanabe R, Ito H, Fujii T, Ohmura K, Yoshitomi H, Murata K, Murakami K, Onishi A, Tanaka M, Matsuda S, Matsuda F, Morinobu A, Hashimoto M.	Monocyte-derived transcriptomes explain the ineffectiveness of abatacept in rheumatoid arthritis.	Arthritis Res Ther.	26	1	2024
Onishi A, Yamada H, Yamamoto W, Watanabe R, Hara R, Katayama M, Okita Y, Maeda Y, Amuro H, Son Y, Yoshikawa A, Hata K, Hashimoto M, Saegusa J, Morinobu A.	Comparative effectiveness of biological disease-modifying antirheumatic drugs and Janus kinase inhibitor monotherapy in rheumatoid arthritis.	Rheumatology (Oxford).		kead620	2023
Umemoto A, Ito H, Azukizawa M, Murata K, Tanaka M, Fujii T, Onishi A, Onizawa H, Ishie S, Murakami A, Nishitani K, Murakami K, Yoshitomi H, Hashimoto M, Morinobu A, Matsuda S.	How do symptoms of each joint contribute to global pain, disease activity and functional disability in rheumatoid arthritis?-A comprehensive association study using a large cohort.	PLoS One	18	e0285227	2023

Shirata M, Ito I, Tanaka M, Murata K, Murakami K, Ikeda H, Oi I, Hamao N, Nishioka K, Hayashi Y, Nagao M, Hashimoto M, Ito H, Ueno H, Morinobu A, Hirai T.	Impact of methotrexate on humoral and cellular immune responses to SARS-CoV-2 mRNA vaccine in patients with rheumatoid arthritis.	Clin Exp Med.			2023
Masui S, Yonezawa A, Nakamura M, Onishi A, Hashimoto M, Onizawa H, Fujii T, Murakami K, Murata K, Tanaka M, Yokoyama K, Iwamoto N, Shimada T, Itohara K, Hira D, Nakagawa S, Imai S, Nakagawa T, Hayakari M, Matsuda S, Morinobu A, Terada T, Matsubara K.	Serum Concentrations of Infliximab and IL-6 for Predicting One-Year Discontinuation of Infliximab Treatment Owing to Secondary Non-response in Patients with Rheumatoid Arthritis.	Biol Pharm Bull.	46	1112-1119	2023
Nakayama Y, Watanabe R, Yamamoto W, Ebina K, Hirano T, Kotani T, Shiba H, Katayama M, Son Y, Amuro H, Onishi A, Jinno S, Hara R, Murakami K, Murata K, Ito H, Tanaka M, Matsuda S, Morinobu A, Hashimoto M.	IL-6 inhibitors and JAK inhibitors as favourable treatment options for patients with anaemia and rheumatoid arthritis: ANSWER cohort study.	Rheumatology (Oxford).		kead299	2023
Onishi A, Torii M, Hidaka Y, Uozumi R, Oshima Y, Tanaka H, Onizawa H, Fujii T, Murata K, Murakami K, Tanaka M, Matsuda S, Morinobu A, Arai H, Hashimoto M.	Efficacy of personalized exercise program on physical function in elderly patients with rheumatoid arthritis at high risk for sarcopenia: study protocol for a randomized controlled trial.	BMC Musculoskeletal Disord.	24	280	2023

Murakami K, Watanabe R, Fujisaki T, Ito H, Murata K, Yamamoto W, Fujii T, Onizawa H, Onishi A, Tanaka M, Hashimoto M, Morinobu A.	Predictive value of baseline concomitant glucocorticoid for abatacept-mediated long-term inhibition of radiographic progression: insights from the KURAMA cohort.	Immunol Med	47	45-51	2024
森信 暁雄	関節リウマチの最新の治療 (解説)	日本内科学会 雑誌	112	1668-1672	2023
Komiya Y, Sugihara T, Hirano F, Matsumoto T, Kamiya M, Sasaki H, Hosoya T, Kimura N, Ishizaki T, Mori M, Tohma S, Yasuda S, Matsui T.	Factors associated with impaired physical function in elderly rheumatoid arthritis patients who had achieved low disease activity.	Mod Rheumatol.	34(1)	60-67	2023
Ramanan AV, Quartier P, Okamoto N, Foeldvari I, Spindler A, Fingerhutová Š, Antón J, Wang Z, Meszaros G, Araújo J, Liao R, Keller S, Brunner HI, Ruperto N, ; JUVE-BASIS investigators; Paediatric Rheumatology International Trials Organisation.	Baricitinib in juvenile idiopathic arthritis: an international, phase 3, randomised, double-blind, placebo-controlled, withdrawal, efficacy, and safety trial.	Lancet.	402(10401)	555-570	2023

Yamazaki S, Izawa K, Matsushita M, Moriichi A, Kishida D, Yoshifuji H, Yamaji K, Nishikomori R, Mori M, Miyamae T.	Promoting awareness of terminology related to unmet medical needs in context of rheumatic diseases in Japan: a systematic review for evaluating unmet medical needs.	Rheumatol Int.	43(11)	2021-2030	2023
川人 豊.	最新の薬物治療アルゴリズムと薬剤が変更されるとき	薬局	74(3)	21-26	2023
河野正孝, 川人 豊.	病態薬理学 自己免疫疾患	月刊薬事	65(7)	241-250	2023
Harigai M, Fujii T, Sakai R, Igarashi A, Shoji A, Yamaguchi H, Iwasaki K, Makishima M, Yoshida A, Okada N, Yamashita K, Kawahito Y.	Risk of hospitalized infections in older elderly patients with rheumatoid arthritis treated with tocilizumab or other biological/targeted synthetic disease-modifying antirheumatic drugs: Evaluation of data from a Japanese claims database.	Modern Rheumatology	34(2)	287-296	2024
Ikeda K, Kaneko Y, Tsujita Y, Kawaguchi I, Patel J, Yamazaki T, Fang S, Kawahito Y.	Healthcare resource utilisation and economic burden of patients with adequate and inadequate responses to biological and targeted synthetic disease-modifying antirheumatic drugs for rheumatoid arthritis in Japan.	Modern Rheumatology	Online ahead of print	doi: 10.1093/mr/rroad106	2024

Kojima M, Sugihara T, Kawahito Y, Kojima T, Kaneko Y, Ishikawa H, Abe A, Matsui K, Hirata S, Kishimoto M, Tanaka E, Morinobu A, Hashimoto M, Matsushita I, Hidaka T, Matsui T, Nishida K, Asai S, Ito H, Harada R, Harigai M.	Consensus Statement on the Management of Late-Onset Rheumatoid Arthritis.	Modern Rheumatology	Online ahead of print	doi: 10.1093/mr/roae011	2024
Sugihara T, Kawahito Y, Kaneko Y, Tanaka E, Yanai R, Yajima N, Kojima M, Harigai M.	Systematic review for the treatment of older rheumatoid arthritis patients informing the 2024 update of the Japan College of Rheumatology clinical practice guidelines for the management of rheumatoid arthritis.	Modern Rheumatology	Online ahead of print	doi: 10.1093/mr/roae026.	2024
Suzuki M, Asai S, Hara R, Hirano Y, Nagamine S, Kaneko T, Sakane H, Okano T, Yoshioka Y, Tsuji S, Wakabayashi H, Takakubo Y, Takemoto T, Fujibayashi T, Watanabe T, Kato T, Ishikawa H, Nasu Y, Torikai E, Kaneko A, Takagi H, Fujiwara T, Kihira D, Hattori K, Kishimoto K, Ohashi Y, Sobue Y, Yokota Y, Nishiume T, Terabe K, Takahashi N, Kojima M, Imagama S, Kojima T.	Choice of and response to treatment in patients with early-diagnosed rheumatoid arthritis: Real-world data from an inception cohort in Japan (NICER-J)	J Orthop Sci	S0949-2658(23)00090-8.	doi: 10.1016/j.jos.2023.03.020.	2023

Suzuki M, Kojima T, Terabe K, Ohashi Y, Sato R, Kosugiyama H, Hasegawa J, Ohno Y, Nagai K, Ohnishi C, Sugiura H, Fujita H, Nagayoshi M, Kojima M, Asai S, Imagama S.	Association between laughter, frailty, and depression in rheumatoid arthritis patients	Int J Rheum Dis	27(1):e15034.	doi: 10.1111/1756-185X.15034.	2024
Kudo Y, Takeuchi K, Kusama T, Kojima T, Waguri-Nagaya Y, Nagayoshi M, Kondo K, Mizuta K, Osaka K, Kojima M.	Differences in prevalence of self-reported oral hypofunction between older adult patients with rheumatoid arthritis and the general older population: A cross-sectional study using propensity score matching	J Oral Rehabil		doi: 10.1111/joor.13658.	2024
Kameda H, Nishida K, Nanki T, Watanabe A, Oshima Y, Momohara S	Safety and Effectiveness of Certolizumab Pegol in Japanese Patients with Rheumatoid Arthritis: Results from a 24-Week Post-Marketing Surveillance Study	Mod Rheumatol	33	460-471	2023
Tanaka Y, Takahashi T, Van Hoogstraten H, Praestgaard A, Kato N, Kameda H	Haemoglobin changes and disease activity in Japanese patients with rheumatoid arthritis treated with sarilumab	Clin Exp Rheumatol	41	1129-1139	2023

Tamai H, Ikeda K, Miyamoto T, Taguchi H, Kuo CF, Shin K, Hirata S, Okano Y, Sato S, Yasuoka H, Kuwana M, Ishii T, Kameda H, Kojima T, Taninaga T, Mori M, Miyagishi H, Sato Y, Tsai WC, Takeuchi T, Kaneko Y, MIRACLE study collaborators	Reduced versus maximum tolerated methotrexate dose concomitant with tumornecrosis factor inhibitor in patients with rheumatoid arthritis (MIRACLE): a randomised, open-label, non- inferiority trial	Lancet Rheumatol	5	e215-e224	2023
Kubo S, Miyazaki Y, Amano K, Matsui K, Kameda H, Inoue Y, Nakayamada S, Ogura T, Kaneko Y, Yamaoka K, Tanaka Y	Sustained remission following the discontinuation of tofacitinib in patients with rheumatoid arthritis (XANADU study): an open label randomized study	RMD Open	9	e003029	2023
Kameda H, Tasaka S, Takahashi T, Suzuki K, Soeda N, Tanaka Y	Safety and effectiveness of sarilumab in Japanese patients with rheumatoid arthritis refractory to previous treatments: An interim analysis of a post-marketing surveillance	Mod Rheumatol	in press		
Tanaka Y, Takahashi T, van Hoogstraten H, Kato N, Kameda H	Effect of sarilumab on unacceptable pain and inflammation control in Japanese patients with moderately-to-severely active rheumatoid arthritis: Post hoc analysis of a Phase III study (KAKEHASI)	Mod Rheumatol	in press		

Kameda H, Yamaoka K, Yamanishi Y, Tada M, Koike R, Nakajima A, Fusama M, Fujii T	Japan College of Rheumatology guidance for the use of methotrexate in patients with rheumatoid arthritis: Secondary publication	Mod Rheumatol	34	1-10	2024
亀田秀人	MTX 使用と診療の手引き 2023 年版改訂の要点	九州リウマチ	43	57-60	2023
亀田秀人	ウパダシチニブ	臨床リウマチ	35	162-168	2023
Fusama M, Motonaga T, Kuroe Y, Nakahara H	Psychological support and patient-centered care for patients with rheumatoid arthritis: Nurses' opinions and practice in Japan	International Journal of Rheumatic Diseases	26 (9)	1779-1787	2023 年
Fusama M, Nakahara H, Gregg M, Kuroe Y, Urata Y, Kawahata Y, Kawahito Y, Kojima M, Sugihara T, Hashimoto M, Miyamae T, Murashima A, Mori M, Yajima N, Matsui T	Challenges faced by nurses engaged in rheumatology care in Japan	Mod Rheumatol			2023 年
Kameda H, Yamaoka K, Yamanishi Y, Tada M, Koike R, Nakajima A, Fusama M, Fujii T	Japan College of Rheumatology guidance for the use of methotrexate in patients with rheumatoid arthritis: Secondary publication	Mod Rheumatol	34 (1)	1-10	2023 年
後藤美賀子	各種診療ガイドラインにみる 挙児希望女性の合併症・ 併存疾患の取り扱い-プレコ ンセプションから妊娠・出 産まで ,9. 膠原病	産婦人科の実 際	72 巻 04 号	387-391	2023

Ramanan AV, Quartier P, Okamoto N, Foeldvari I, Spindler A, Fingerhutová Š, Antón J, Wang Z, Meszaros G, Araújo J, Liao R, Keller S, Brunner HI, Ruperto N.	JUVE-BASIS investigators; Paediatric Rheumatology International Trials Organisation. Baricitinib in juvenile idiopathic arthritis: an international, phase 3, randomised, double-blind, placebo-controlled, withdrawal, efficacy, and safety trial.	Lancet	402	555-570	2023
Narazaki H, Akioka S, Akutsu Y, Araki M, Fujieda M, Fukuhara D, Hara R, Hashimoto K, Hattori S, Hayashibe R, Imagawa T, Inoue Y, Ishida H, Ito S, Itoh Y, Kawabe T, Kitoh T, Kobayashi I, Matsubayashi T, Miyamae T, Mizuta M, Mori M, Murase A, Nakagishi Y, Nagatani K,	Epidemiology and conduct of paediatric rheumatic diseases based on the registry database of the Pediatric Rheumatology Association of Japan	Mod Rheum	33	1021-1029	2023
Takahiko Sugihara, Yutaka Kawahito, Yuko Kaneko, Eiichi Tanaka, Ryo Yanai, Nobuyuki Yajima, Masayo Kojima, Masayoshi Harigai	Systematic review for the treatment of older rheumatoid arthritis patients informing the 2024 update of the Japan College of Rheumatology clinical practice guidelines for the management of rheumatoid arthritis	Modern Rheumatolog	in press		